

# 国労加入で変えよう職場と労働条件

国労東日本本部 第24回定期大会

国鉄労働組合  
東日本本部



## 27名の真摯な発言で 当面する運動方針を確立!

### 経過に対する質疑討論

9月2～3日で開催した第24回国労東日本本部定期大会では、経過に対する発言で8名、運動方針に対しては(特別発言を含む)19名が発言し、当面する闘いの展開について意思統一しました。今号は、①大会特集号の【その2】として、代議員発言 ②「設備・電気部門におけるメンテナンス体制の改善」基本交渉報告とします。前号と併せ、ご活用ください。

○水内代議員(東京・神奈川) NF2008の「駅あり」で、委託会社との直接交渉が出来る間が掛かりすぎているのが職場の実態。管理駅の南橋本が8月1日に環境アクセスへの

業務委託が強行実施された。いま分会で、問題点を執行委員会を出し合いながら議論を続けている。出向者・エルダー組合員の労働条件や職場の環境などの要求を直接ぶつけて速やかに解決できるようなものを、国労が先頭になって確立するこ

とが急務。

### ○飯高代議員(千葉)

貨物職場で2名の国労加入を得た。今回の加入にあたっては、分割・民営化の根本的矛盾、三島・貨物の経営問題がある。労働条件改善を図るには、国労の掲げる政策提言を実行させることが早道。地方本部では、「バリアフリー」に向けた駅の実態調査」を行い、改善要求の集約を図った。問題点を集約して現場長への改善の申し入れを行ってきた。安全・安定輸送の確保のためには、職場から「仕事・安全総点検運動」の取り組みを強めていくことが重要。

### ○保泉代議員(高崎)

貨物会社に対し、地本主催の「3・8春闘勝利・ダイヤ改正合理化粉砕高崎機関区前集会」を開催し、ベアゼロ・定期昇給凍結反対を訴えてきた。国労が短時間であってもストライキを打つことを訴える。貨物の構造矛盾の解消に向け、



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 高野苗実  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 703 定価 20円

2010年  
10月11日

第24回定期大会  
いつでもどこでも  
声かけて増やそう  
未来の仲間達

特集(その2)

<http://www.e-nru.com>



## 国労東日本主催

# 皇居マラソン大会

12月11日11時 桜田門時計台前集合

申込は各地方本部へ



東日本本部の更なる運動の展開を要請する。10年前からユニオンと2組合共闘を行う中で、東日本の歪んだ労使関係を是正させる闘いを展開。2月1日にユニオンから1名、4月30日には新規採用者1名が国労に加入。動力者操縦免許取消等に関する交渉を本社とどう進めていくのか考え方を教えてほしい。車両メンテナンスは白紙撤回を求めていくしかないと考えるのが本部の見解を求める。

### ○佐藤代議員(東京・八王子)

組織拡大を重要課題として取り組んだ。国労運動に自信と確信を持ち、国労加入を大胆かつ積極的に呼びかける運動を取り組んでいきたい。設備メンテナンス合理化から9年が経過したが、事故が多発。設備部門におけるメンテナンス体制の改善が提案さ

### 執行部中間答弁

●武田組織部長 ● 全てに皆さんが「拡大は最

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」施策は反対。公共交通の根幹である安全・安定輸送に対して逆行している施策であり、技術継承、若年育成に關しての道も閉ざされてしまうことから、東日本本部の業務委託に対する考え方や具体的な今後の取り組みについて答弁を。



●吉野代議員(東京・大宮) 国労の組織拡大は、各級機関が最重要課題と位置づけ、年々成果を上げている。全国大会の宮里弁護士指摘にあつたように、我々の指導力向上も含め東日本本部に権利教育に向けた学習活動の強化をお願いしたい。

重要課題である」と発言されていた。東日本本部も重く受け止めて、今後の取り組みをお願いしたい。ブロック別組織対策交流会報告集は、皆さんに教訓化、そして共有化してほしいというところで作成したので活用していただきたい。非正規社員の組織化について、東日本本部としても正社

### ●矢部法対部長

動力者操縦者免許の関係は、安全経協の中で会社の態度・考え方を聞き、業務連絡報告してある。10月1日の実施というところで、運輸協の皆さんに議論していただいて早急に申し入れを行っていく。一括和解以降の懸案事項と



して、昇進問題も東日本本部の重要課題として取り組んでいく。一括和解の勧告書、確認書に基づく問題でもあるので、引き続き取り組みを強化して改善に向けて運動をつくっていききたい。

●松井書記長●

出向会社との直接の交渉が出来ないかということについては、様々な議論を積み重ねてきた。結果として今回一定のルールをつくる事ができた。最終的には出向されている皆さんの思いや声がかかり伝わる、最低でも機関と会社との交渉ができればと目標を掲げていきたい。

パリアフリーの問題については、運輸協の皆さんと連携をとりながら、東日本本部として扱うべき課題の営業施策を一つ一つ進めていきたい。貨物会社に対して「国労として毅然としたストも含めた戦術配置を何故できないんだ」という声が多く出されている。東日本本部として、戦術委員会なり本部に伝えるということで、しっかりと責任を果たしていきたい。貨物の学習会については、開催すべきと受け止めている。申34号については、全て終わらなければ支社提案しないということになっている。基



本要求を職協の皆さんを中心にして取り組む中で、支社提案を受けていく段階において、意思疎通を図れるような会議の設定なども考えている。検修の外注化については、東日本本部として会社に対して施策を提案した以上しっかりと責任を持って伝えてある。やりやれること、できることをしっかりと見つけながら対応していきたい。

20日目討論再開

○北嶋代議員(千葉)

1047問題は、「4党合意」で団結が崩されたが、総団結が解決の前提条件になり「4者・4団体」ができて勝利を勝ち取った。東日本本部として雇用確保を迫る態度を具体的に明らかに。

設備メンテナンスの検証は2年かけて申9号として集約された。文書回答では納得がいかない。新たな提案に対し

○佐々木代議員(盛岡)

12月4日の東北新幹線全線開業を控えて、与党三党・国土交通省に対して、経営分離される並行在来線への国としての恒久的な支援策を求めて要請してきた。新幹線建設による並行在来線問題を抱える11道県での全国的な運動を展開すべく、運動体の結成にこぎつけることができた。

闘争団の仲間や家族が人生の再スタートを切れる条件整備をしっかりとし、地方においても職場における様々な問題に向き合い、一つ一つ解決することで仲間を守る国労組織を確立するために奮闘する。

○高橋代議員(東京・神奈川)

グリーンスタッフ(以下GS)制度が導入されて3年半になる。職場で43%を占める。GSの仲間は正社員と同じ仕事をしている。GS社員は、小集団、様々な本来業務以外の作業を形式的には自発的にやっている。国労が、GS社員の一人でも多い正社員化を目指し、機関と職場で力を合わせていくべきである。GS問題だけで申を立てて交渉ができるように要望する。

運動方針(案)に対する質疑討論

○大橋代議員(東京・大宮)

JR不採用問題の課題と組織強化・拡大の2点について、1点目のJR不採用問題は、残された課題は雇用問題の解決である。雇用希望者の願いがかなうよう雇用の確保をしつかりつかみ取るまで、機関・組織に結集しなければならぬ。

2点目は、私たち国労にとってもう一方の重要課題である組織強化・拡大の取り組み。地区本部では一昨年の2名の拡大以来、拡大は停滞状況に

執行部経過集約答弁

●松井書記長●

不採用問題の雇用についてはJR会社と労働組合の労使問題ではなく、政府からJR各社への申し入れを土台とすることになっている。東日本本部としては、その範疇ででき得ること全てをやり切るという決意である。



申9号をはじめとした設備メンテナンスにかかわる部分については、現状の申34号を立てるまでの経緯・経過、これらを踏まえて反省点はきちっと反省して、今後の業務体制のあり方とすることで方針にも明らかにしている。本部・本社間での交渉が終結しない限り地方提案、支

追加方針について

○齋藤代議員(仙台)

追加方針について。あまりにも漠然とした内容で、組合員に対して説明にたえる内容になっていない。職場討議を保障し、決定に当たっては慎重に審議すべき。

○野佐根代議員(東京・上野) 少数の国労組合員でも要求の正当性に確信を持ち、粘り強い調査活動の上に第三者機関を活用することによって就業規則改善を勝ち取った。少数派には少数派の闘いがあつたことをこれまでの闘いが証明している。

何よりも業務委託合理化についての改善を求める運動を強化すべきだ。国労として会社の顔色をうかがうのではなく、委託先組合員との連携を強化し、直接交渉や、出向先オルグ、抗議行動などの取り組みを強化すべき。

「契約社員制度廃止・正社員化」を求めた具体的闘いも早急に取り組む必要がある。協約締結の前に取り組むべき課題は山積している。新人事・賃金制度に対する討議資料の作成をしていただくよう要望する。

○長島代議員(東京・新橋) 貨物会社での運動を報告したい。 検修職場ではこれまで職場丸ごと委託外注化など合理化・効率化が行われてきた。関東と東北支社の貨車検修職場で働く9職場の仲間が参加した交流会では、委託会社では新規採用者が採用されない職場で技術継承ができないばかりか、将来的に職場の存続も危

追加方針については、あまりにも漠然とした内容で、組合員に対して説明にたえる内容になっていない。職場討議を保障し、決定に当たっては慎重に審議すべき。



追加方針については、あまりにも漠然とした内容で、組合員に対して説明にたえる内容になっていない。職場討議を保障し、決定に当たっては慎重に審議すべき。



車検修職場が対象、引き続き他系統を含めた交流会の開催を。

第3セクター、整備新幹線問題について。東北新幹線が延伸されるが、今問題となっているのは、指令システムを第3セクターが自前でつくることを決めたため、その建設費をどう調達するか。これにはJR貨物に融資を求めざるを得ない、本来は機関車や貨車、コンテナ、フォークリフトなどに設備投資をしなければならぬときにこうした負担が生じるのは、大きな問題。引き続き鉄道貨物輸送の維持と構造矛盾の解決に向け、運動を強化していただくことを要請する。

組織拡大について。いま一度和解による到達点を生かし、組織拡大に向けた取り組みを当面する最大の課題として運動を強化していかねければならない。国労の全国単一組織としての優位性を発揮し、運動を進めていくように要請する。

○粕尾代議員（長野）  
JR不採用問題について。残る雇用問題に全力を挙げることは当然だが、心から喜び合える本当の意味での解決を目指していかねばならない。労働条件改善に向けた闘いと、今後の労使関係の構築に

については、組合員が苦しめられている職場実態に裏打ちされた確たる要求は、会社側を圧迫する迫力があるというところ。もう一度職場の実態、仲間の実態をつかみ、要求としてまとめ、その改善を迫るという当たり前の運動が求められている。

もう一点は、本当の主人公は誰か。職場の実態を明らかにして改善を図ったのは、やはり現場の組合員。今こそ現場で奮闘している組合員に学ばねば。和解以降も依然として遠距離通勤解消が進まず、16年も遠距離通勤を強いられている組合員もおり、成熟した和解を実感する状況にはない。ここが解消されなければ和解としての意味を持たない。同時に、正常かつ健全な労使関係の確立はできないのではないかと。

真の仲間づくりについては、国労の財産である組合員を主人公にした取り組みだと思ふ。組合員同士がお互いに心から笑い合えるために国労らしい生き生きとした運動を展開し、さらなる組織拡大を図ってきたい。

○坂本代議員（水戸）  
今回提案された検修外注化施策は、安定・安全輸送に逆行する施策。基本的には修正・撤回を求める姿勢が欠けている。今後我々はどうか運動をつくり上げていくかが問われている。引き続き法違反は許さない闘いとあわせ、特に偽装請負の闘いを本格的に展開し、外注からも戻す闘いを全職種で取り組むよう要請する。

地方交通線の存続と活性化について。「高校生・水郡線サミット」に参加してきた。連絡会はJR東日本へ要望書も提出し、「水郡線の混雑緩和を求め、増車両や増便、安全運行」などを訴えている。赤字を理由に廃線が余儀なくされる地方ローカル線存続にもっと幅広い取り組みが必要だ。廃線により移動する権利や教育を受ける権利が脅かされてはならない。

労働協約について結論を急がず、不団結要素を残すことのないよう願う。

○小松代議員（仙台）  
「設備・電気部門におけるメンテナンス体制の改善」合理化について。9年を経て職場はどうなっているのか、その検証抜きに今提案されているメンテナンス改善の議論はあり得ない。調査・点検活動から職場の実態をつかみ、要求し、改善につなげるという国労らしい運動を追求すること。同時に、こうした会社の姿勢を変えるためには組織の拡大を展望していく以外に近道はない。この間の外注化施策の中で安全レベルが向上したかどうか、この先安全が保たれるのか、まさに今、安全が会社の脆弱点になっている。

○斎藤代議員（新潟）  
整備新幹線並行在来線問題の対策について。新潟では、並行在来線の問題等含めて地域組織が結成されてきている。JRの社会的責任と県と国の役割を求める提言を発表し、地域連絡会は、提言の実践の立場で署名、アンケートを実施。

9月4日には、「青い森鉄道に学ぶ」と題して、青森県から講師を招き「講演と文化の集い」を開催。地域住民の足であり、豪雪地帯には宝でもあり、在来線を将来にわたり安定的に維持・運営していくには、国・JRの責任と役割は欠かすことができない。時代にそぐわない90年の経営分離原則を見直し、JRによる経営・運営を基本に、公共交通の採算性の考え方と交通基本法、その考えに基づいた活動が求められている。

○倉持代議員（東京・上野）  
今後の駅のあり方について。駅の実態は、やっと本来業務が何とかこなせるようになってきたところに車掌試験を受けて駅から去っていき、その先は運転職場へと出て行く。毎年このサイクルで進めていくことが今までの会社の方針とした結果、駅職場では業務委託がどんどん進み、出向者がふえ契約社員が職場の大勢を占めているのが現状。将来の営業職場を考えると、ベテランの先輩が一人ひとり退職を迎え、中間層がない現状では、真の営業のプロを育てるところか、技術継承すら難しい現状。

○出羽代議員（水戸）  
組織拡大の取り組みと設備メンテナンスの問題点について報告していきたい。地本としては2年ぶりの拡大となった。拡大した班は、定例の班集會を持つことが困難な中、集まる場として集會や大会などへの参加体制をつくってきた。周りで見える運動をつくり、「自分も一緒にこの人たちとやっていける」という気持ちにさせてきた。

○出羽代議員（水戸）  
組織拡大の取り組みと設備メンテナンスの問題点について報告していきたい。地本としては2年ぶりの拡大となった。拡大した班は、定例の班集會を持つことが困難な中、集まる場として集會や大会などへの参加体制をつくってきた。周りで見える運動をつくり、「自分も一緒にこの人たちとやっていける」という気持ちにさせてきた。

家庭状況を各個人が訴えてきた。しかし、JR会社は、団交の場においてパートナリー会社、JR会社それぞれの言いわけを主張し、出向の戻りについては先延ばしの状態を意図的につくってきた。設備メンテナンスの矛盾であり、早急な改善、不公平感の是正を。

一括和解以降の懸案事項についてこの間支社と協議を進めてきた中、改善が図られてきた。残された懸案事項については、和解の趣旨を踏まえ改善を早急に進めよう、東日本本部として本社への働きかけを強く求めていただくことを要請したい。

○執行部中間答弁  
一括和解以降の懸案事項については、本部・地方連携を取りながら引き続き改善を求めたい。

○松井書記長  
三島・貨物の問題については、並行在来線問題も含めて本部の指導のもと取り組みを進めたい。

営業職場の様々な問題が述べられた。連協の皆さんと相談しながら課題の整理を図りながら是正・改善を求めていきたい。

解明を求め続ける闘いを展開してきた。と同時に、労基署への質問行動も並行して取り組んできた。秋田・盛岡・仙台各労基署に支部執行委員が中心となって、延べ10回の行動を行ってきた。6年間にわたる団体交渉での追及で問題解決に努めてきたが、JR東北バスの姿勢は相変わらず変わらない。正しい労働条件で働けるよう取り組んでいきたい。

東北自動車支部の組織拡大行動で、国労に加入した2人は、それぞれ契約社員として不安定な雇用形態と、出向社員よりも低賃金で働き続けてきた。契約社員のと看せながら、契約の再更新の不安や出向社員との労働条件の違いを誰にも相談できず悩んでいたときに、相談できたのが国労組合員だった。それからは顔を合わすと同時に、職場状況なども話すようになり、信頼関係がより強くなって加入となった。



○特別発言  
佐藤特別代議員（自動車協議会議長）  
JR東北バス会社は、出向社員とバス社員・契約社員との間では賃金・手当の額、特別



○特別発言  
佐藤特別代議員（自動車協議会議長）  
JR東北バス会社は、出向社員とバス社員・契約社員との間では賃金・手当の額、特別



雇用、正社員を希望している。国労として正社員化にする運動が必要。

最後に、営業で働いている社員の要望だが、精神的苦痛を受けている接客担当社員に接客手当の創設を。

○長瀬代議員（東京・神奈川）

神奈川でも多くの駅がシニア雇用の場の確保として業務委託。安全・安定輸送の上で、JRを利用するお客様にも不便をかけている。さらには「偽装請負」の問題点も多く出ている。はつきりと「ダメ出し」をするためにも、さらなる調査と検証、学習活動の強化が必要。

検修外注化問題については、

4月1日以降実施提案の中で、国労としては第2次解明要求を提出した段階で止まっている。今後も、職協・地方の皆さんと相談を図り進める。

○金子代議員（東京・上野）

支部内でプロジェクトチームをつくり、対策を進め、残念ながら結果は出なかったが、支部内での組織拡大の機運は以前よりはるかに高いレベルになった。一方、東労組の勝手な振る舞いも明らかに。再度会社と厳重な申し入れを行っていただきたい、また公平な加入行動ができるよう環境づくりをより一層進めていただきたい。

多くの契約社員が安定した

この提起を。

再雇用、エルダー制度について、多くの問題が明らかになっている。直接エルダー先に申し入れ等の取り組みを考えていくべき。

○鈴木代議員（長野）

和解条項を守らせる闘い、また、試験制度を変えていくことが急務。

今職場では、外注化が進んで、改造工事では7割近くが外注。機器の故障、ヒューマンエラーも多く、このままでは車両の安全に自信が持てない。こうした中「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」が昨年提案された。外注職場を新たに増やす、業務委託も増やすという内容で、ますます車両の安全性低下と、そこにいる人たちが出向となる可能性もあり、労働条件の低下が懸念される。

○尾臺代議員（高崎）

労働協約締結について、今年の社会人採用配属に当たり明らかでない労働行為が発生。内容は、勤務時間内に助役が新入社員に昼食の場所を指定。そこに東労組の役員が準備をして、オルグをしている。職制である助役の実態が現場ではまだこのレベル。さらに、本部・本社間の交渉について、「申」の提出から6カ月も交渉が設定されていなかった。この会社の姿勢、完全に国労の「申」を軽視。本部が明確な判断材料が提示できないとするならば、追加方針部分は撤回されるよう強く求めます。

○菊池代議員（盛岡）

組織拡大のキーワードは「職

場・仕事の中心に」、そのためにも仕事のあり方から見えてきた課題を職場の要求として全体化する中で、国労がその先頭に立って改善を。

出向先会社の労働条件の問題については、送り出し側で



あるJR側にもその責任がある。また、出向連のあり方について、職協の取り組みに包括していくべき。

過去の不幸な労使紛争を踏まえ、「安全・安定輸送の確立」を図る中から、JR会社の健全な発展に寄与していく「未来志向の労使関係」を構築すべき。「JR東日本会社との労働条件に関する協約締結」は、その道筋の一つである。

○後藤代議員（秋田）

秋田では新規採用者の組合加入について、研修センター内で、講師からクラス代表を通じ支部研修以降の行動を指示されて、全員まとめて東労組に加入させるといふ許しがたい行為が行われた。これが和解で双方が確認した「健全で良好な労使関係の確立」に努力し、「公平・公正な人事・労務管理」を行う会社の姿勢。素案と資料に対する職場討議を。

○水越代議員（東京・八王子）

エリア本部は、職場要求に沿って労働協約改訂闘争に立ち上がるとき。「仕事・安全総点検運動」などを取り組み、職場の中心に座り、イニシアチブをとる運動を展開し、他労組の仲間を巻き込んで組織拡大を大胆に展開するとき。

○水越代議員（東京・八王子）

地区本部では、和解以降09年1月をスタートに青年からエルダー社員までの仲間が復

今、あらゆる職種で業務委

「設備・電気部門におけるメンテナンス体制の改善について」の本社交渉を終えて

1月15日に提案された「設備・電気部門におけるメンテナンス体制の改善について」の本社との団体交渉が、9月22日の電気関係基本交渉をもって終了した。交渉では、「設備メンテナンス再構築」9年間の問題点の検証を求めるとともに、安全問題や技術継承問題で会社の考え方を質してきた。安全レベルの問題では、JRが発注した仕事の元請、下請、孫請へと投げられて承が十分でなかった。業務遂行、安全と品質、技術継承、労働条件などの問題を具体的に調査し、要求にまとめ、本日でやるべき仕事はもとに戻す取り組みを。そして新たな業務委託を止める闘いを実践すべき。

エリア本部は、職場要求に沿って労働協約改訂闘争に立ち上がるとき。「仕事・安全総点検運動」などを取り組み、職場の中心に座り、イニシアチブをとる運動を展開し、他労組の仲間を巻き込んで組織拡大を大胆に展開するとき。

地区本部では、和解以降09年1月をスタートに青年からエルダー社員までの仲間が復

1月15日に提案された「設備・電気部門におけるメンテナンス体制の改善について」の本社との団体交渉が、9月22日の電気関係基本交渉をもって終了した。交渉では、「設備メンテナンス再構築」9年間の問題点の検証を求めるとともに、安全問題や技術継承問題で会社の考え方を質してきた。安全レベルの問題では、JRが発注した仕事の元請、下請、孫請へと投げられて承が十分でなかった。業務遂行、安全と品質、技術継承、労働条件などの問題を具体的に調査し、要求にまとめ、本日でやるべき仕事はもとに戻す取り組みを。そして新たな業務委託を止める闘いを実践すべき。

エリア本部は、職場要求に沿って労働協約改訂闘争に立ち上がるとき。「仕事・安全総点検運動」などを取り組み、職場の中心に座り、イニシアチブをとる運動を展開し、他労組の仲間を巻き込んで組織拡大を大胆に展開するとき。

地区本部では、和解以降09年1月をスタートに青年からエルダー社員までの仲間が復

医療の進化にあわせた、アフラックのいちばん新しい「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える。アフラックのがん保険

「生きる」を創る。Affac

アベニール 株式会社

TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。